

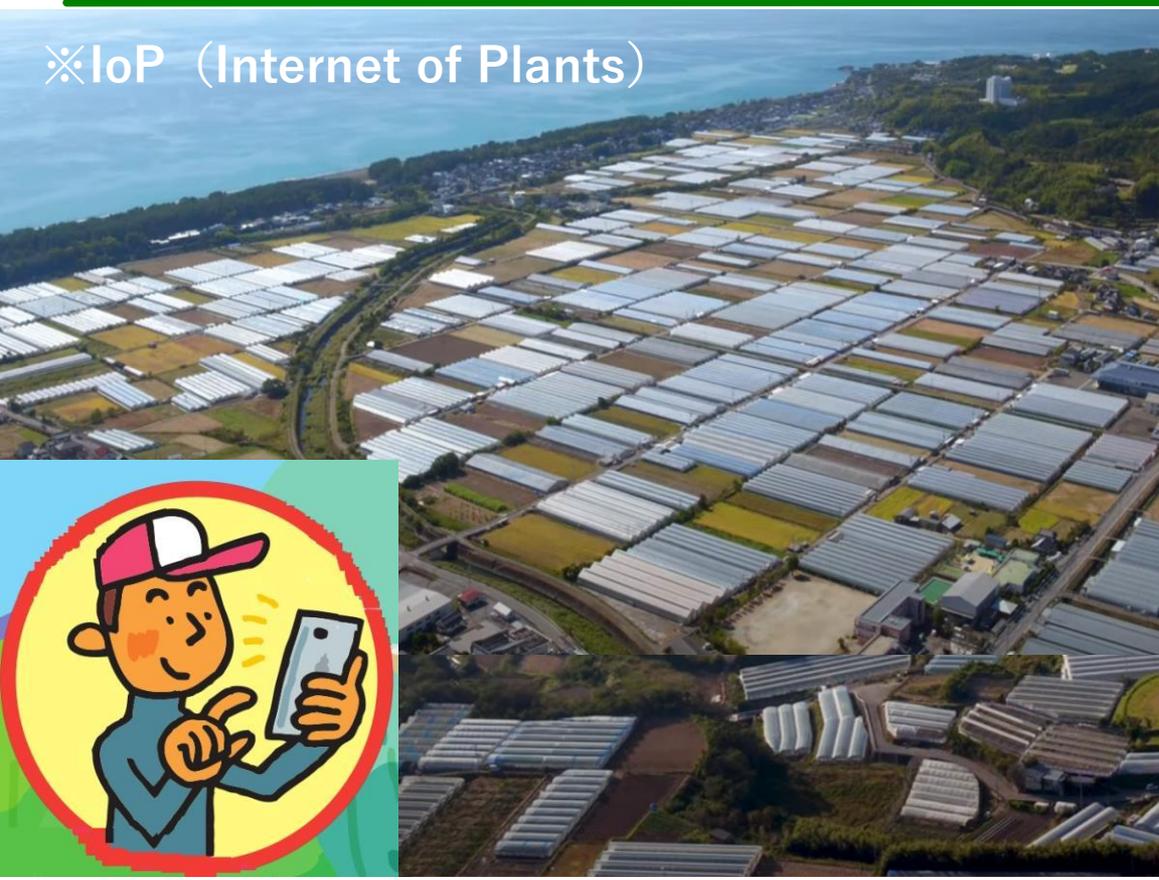


# IoP (Internet of Plants) が導く データ駆動型農業の仲間になりませんか

高知県農業振興部  
IoP推進監 岡林俊宏

IoP推進室 (088-821-4570)  
toshihiro\_okabayashi@ken2.pref.kochi.lg.jp

※IoP (Internet of Plants)



# 『デジタル』×『農業』=『データ駆動型農業』で儲かるのか！

## 農業のイメージ

デジタルには不向き

- ・天候（人間がコントロールできない）に左右される！
- ・技術の基本は『経験』と『勘』



温度

湿度

やる気・  
本気度

センス・適応力  
だんどり力

実は科学

二酸化  
炭素

水

光

野菜・果物・花き

酸素



●光合成・・・特に施設園芸では、人間がかなりコントロールできる！

# 特に施設園芸は、データ駆動型（環境制御技術）管理に最適！

●通常の露地栽培・・・天候に左右される。

データがあってもコントロールできる部分が少ない

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

(例：稲)



年に1回収穫

●施設園芸・・・栽培が1年間続く。

7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月

高知の  
施設園芸品  
(例：ナス)



データに基づいて、  
栽培管理を毎日改善できる！

## 全国共通の目標

「2025年までに農業の担い手のほぼ全てが  
データを活用した農業を実践」

## 全国共通の課題

- どうやってデータを集めるのか。
- 集めたデータをどう活用するのか。

## 本日の話題とご提案

- 1) 高知県のデータ駆動型農業普及の取組ご紹介
- 2) データ連携基盤IoPクラウド（SAWACHI）の構築  
と全国の自治体の皆さんと共有できるしくみへ

# 1) 高知県内でのデータ駆動型農業普及の取組について

R5.1末  
導入面積率(%)

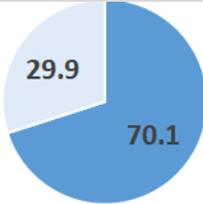
主要7品目全体で 60% 約1,600 戸の農家が導入

ナス



普及率

70.1%

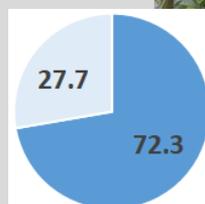


ピーマン



普及率

72.3%

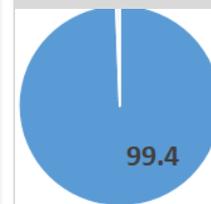


トマト



普及率

99.4%

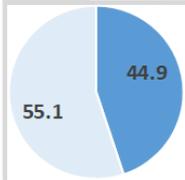


シシトウ



普及率

44.9%

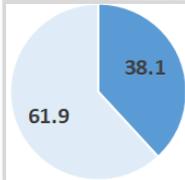


キュウリ



普及率

38.1%

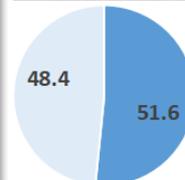


ミョウガ



普及率

51.6%

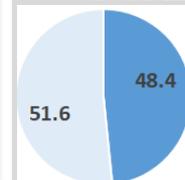


ニラ



普及率

48.4%



5